

証人採用決まる！

**パイロット裁判当面2名、
客室乗務員裁判4名**



5月23日（パイロット裁判）と31日（客室乗務員裁判）に東京高裁で三さん（解雇による不利益）と大森さん（人選基準）です。

勝利判決を目指して更なる
運動の拡大にご協力を！

支える会通信

発行責任者
柚木康子
大田区羽田
4-10-4
石井ビル3階
EL03(6423)7878
AX03(6423)7430
メール
asaerukai@
emon.plala.
or.jp

回目の口頭弁論が行われ、裁判所から証人の採否について言い渡されました。

原告団団長（不当労働行為）と三星乗員組合副委員長（人員体制）が採用、他の5名については2名の証言を聞いてから必要かどうか判断することになりました。

バイロット裁判は追つて期日の指定（5月23日現在）となり、客室乗務員裁判は9月12日（木）10時～16時30分昼休みを除く5時間で101号法廷で行われます。一人でも多くの傍聴参加をお願いします。

高等裁判所において証人を採用させることは非常に難しいと言われている中で、これだけの証人を採用させることができたのは、裁判所に対する要請はがきの取り組みや、5・15霞が関大行動への参加、大量の請願書提出

等、皆様のご支援によるものであります。勝利判決を勝ち取る為に毎月の定例宣伝行動はじめ各種の取り組みへの更なるご参加をお願いします。

特に10月25日には文京シビックホール（定員1800名）にて18時から大集会（名称未定）を予定しています。ぜひ全国からの参加をお願いいたします！

めの陳述)を行いました。
この裁判について非常に
端的にわかりやすくま
とめられています。支え
る会HPにアップしてお
りますので、是非ご一読
ください。HP(ホームページ)
へアクセスがで
きない方は支える会事務
局までご連絡下さい。郵
送でお送りいたします。

5・15霞が関大行動



まり12時10分～13時ま

た。

汗はむほどの好天氣の中、数多くの幟が翻り、裁判所に対して「首切り自由を許さないぞ！」と声を挙げました。

同時に行われた個人請願では、地裁に対し23枚、高裁に対し約2415枚の請願書が提出されました。

裁判所前行動の前後で

J A L 原告団は国土交通省前と厚生労働省前で宣言行動を行い、それぞれ300名、250名もの参加者を迎えることができました。

この行動に対し、支える会の会員の方にメールで呼びかけ、請願書のダ

愛媛新聞（4月5日付朝刊）の投稿欄に
一人の原告の活躍が載りました！

現役乗務員も解雇されたベテラン乗務員が職場に復帰することを強く望んでいます！

年齢が理由の整理解雇 疑問
つて知人の心肺は蘇生した。機敏な処置のや

九州キヤラバンを走破



5月13日～17日に鹿児島～博多にかけて「JAH不当解雇撤回をめざす九州キヤラバン」が実施され、原告から5名が参加しました（総走行距離563キロ）。各地区の

元国労闘争団（鹿児島、宮崎、大分、八幡、博多）の「ご案内で、県労連、平和センター、国労各地本部のご協力をいただき、13日鹿児島、14日宮崎、15日大分、16日北九州、17日博多と回りました。

各地で労組・政党・自治体等への支援要請と主要駅での街頭宣伝を行い、

夕刻には闘争報告集会、その後は交流会まで開催していただき支援を訴えました。

集会参加者は合計約177名、支援要請に伺つた労組等は約70か所でした。

今後も各地域でのキャラバンが計画される予定です。

をしたが、消防隊員の矢継ぎ早な質問と指示にとまどはかりだつた。「呼吸はしていますか」「心肺停止なら心臓マッサージを」「それが生死を分けます」との指示などを周りに十分伝えられたかどうか到着した救急隊員によれば、日本航空を整理解雇され裁判を開つている元客室乗務員の2人だつた。集会に参加していた2人と連携して、自動体外式除細動器（AED）による処置も行われ、間もなく「年齢が高い」という理由で整理解雇するのではなく、日本航空を整理解雇され裁判を開つては会社にとつて大きな損失ではないだろうか。ペテランの元客室乗務員の対処に感心するとともに、そんなことを考えさせられた。（無職）

松本市重見幸春(62) ◇先日、屋外での春かも自信はない。 ◇知人の胸元を開け 梗塞で突然倒れた。私は手幅で位置を確認し、乗客の安全を第一に行 開集会中に知人が心筋梗塞で突然倒れた。私は手幅で位置を確認し、乗客の安全を第一に行 開集会中に知人が心筋梗塞で突然倒れた。私は手幅で位置を確認し、乗客の安全を第一に行
めか、知人の容体は好転している。

元国労闘争団（鹿児島、宮崎、大分、八幡、博多）の「ご案内で、県労連、平和センター、國労各地本部のご協力をいただき、13日鹿児島、14日宮崎、15日大分、16日北九州、17日博多と回りました。	夕刻には闘争報告集会、その後は交流会まで開催していただき支援を訴えました。	集会参加者は合計約177名、支援要請に伺つた労組等は約70か所でした。	動できる客室乗務員
			「年齢が高い」という理由で整理解雇され裁判を闘つている元客室乗務員の2人だった。集会に参加していた2人と連携して、自動体外式除細動器（AED）による処置も行われ、間もなく到着した救急隊員によるとともに、そんなことを考えさせられた。（無職）
各地で労組・政党・自治体等への支援要請と主要駅での街頭宣伝を行い、	今後も各地域でのキャラバンが計画される予定です。	したが、消防隊員の矢継ぎ早な質問と指示にとまどいはかりだつた。「呼吸はしていますか」「心肺停止なら心臓マッサージを」「それが生死を分けます」との指示などを周囲に十分伝えられたかどうか	を携帯で救急車の手配をしたのは、日本航空を整理解雇され裁判を闘つている元客室乗務員の2人だった。集会に参加していた2人と連携して、自動体外式除細動器（AED）による処置も行われ、間もなく到着した救急隊員によるとともに、そんなことを考えさせられた。（無職）
			動できる客室乗務員

～福岡・熊本・佐賀・長崎～「支える会」支援要請行動 報告

4月17日～19日、「支える会」の会員拡大を中心とした支援要請を行いました。事務局から藤田（長崎市出身）が参加し、この要請行動を計画して下さった金澤国民支援共闘会議共同代表が同行くださいました。



三日間で「20の団体」と「4つの集会」で現状報告と支援要請をすることができました。三日間で「20の団体」と「4つの集会」で現状報告と支援要請をすることができました。

島氏の「ご案内で、教職員組合大牟田支部、大牟田市、みやま市の職員労働組合など5団体を訪問。夜には熊本県荒尾市での「JAL不当解雇撤回闘争 荒尾地区報告集会」。30名ほどの集会は、既に各地で活動している「支

える会」の現状に関する質問も出されるなど熱気あふれるものでした。

2日目（18日）早朝、元鳥栖闘争団の原田氏の運転で佐賀へ移動。途中、立ち寄った三池炭鉱三川坑跡では歴史に名を残す闘いをされた炭鉱労働者に思いを馳せ、柳川では水路と白壁の街の景観に癒されました。「争議団の日々は本当に大変だ。息抜きも必要ですよ」と自らも厳しい日々を体験された方ならではの有り難いお心遣いでした。

佐賀市到着後は、元鳥栖闘争団の永松氏のご案内でも、国労佐賀地区本部から始まり、市職員労働組合、教職員組合、水道労組、県職員労働組合などで支援要請。最後にお訪ねした清掃事務所では、仕事を終えた20人ほどの組合員さんが話を聞くために待っていて下さり、



驚くやら感激するやら。18時～「佐賀市職員労働組合」学習会では約100名を前に訴え。若い組合員さんが多かつたこともあり、あれもこれも聞いて欲しいと欲張りすぎ持ち時間を超えそうになりましたが、皆さん熱心に耳を傾けて下さいました。

19時～「JAL闘争報告集会」と交流会。金澤共同代表からの労働界をめぐる情勢のお話に続き、自分の意志とは関係なく人生が決められる事の無念さなど原告としての思

いも聞いていただきながら支援のお願いをしました。

三日目（19日）は元鳥栖闘争団の南里氏、元佐世保闘争団の速見氏が加わって下さり、佐世保市役所職員組合、県職員組合佐世保支部など9団体を訪問、支援要請をすることが出来ました。更にその日の夜に予定されていた地区労主催「憲法学習会」では、突然のお願いだったにもかかわらず山口議長のご厚意で、訴えをさせていただきました。

多くの方のご協力のもと、九州での支援要請行動を終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。そして更に支える会の会員を広げるためにも、一人でも多くの方々に不当解雇の事実を知つていただきかなくてはとの思いを強くしています。

原告団の紹介



副団長・飯田 祐三（北海道出身）

空を飛ぶことしか知らない男から

日本航空の経営は操縦桿を奪い取りました。それは労働者の生き甲斐を奪い取った瞬間であり、人生を喪うにした瞬間でした。そして、それは人間としての尊厳を蹂躪した瞬間でした。全力で走り続けている私は今、同時に、働くことの意味、充実した人生とは何か、を考えています。ご理解、支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



中田 弥生（茨城県出身）

15年前から
実家のある
茨城県に住
みついてい
ます。解雇される10年前か
ら部分就労というパートに
切り替えて、定年まで働く
うと思っていたので、人生
設計があるで狂つてしまい

ました。許せません。



堀内せい子（新潟県出身）

1974年
入社。女性
であつても
60歳定年
まで勤められる職場になつ
たことに誇りを持ち、自分
も、と思つてしました。年
齢を理由にしたこんな解雇
は納得できません。ご支援
よろしくお願い致します。



白井 佳代子（埼玉県出身）

神奈川在
住）三人の子
育てをし
ながら、
守り続けた大好きな仕事を、
幾つもの危機を乗り越えて
飛んだ後に、副操縦士にな
りました。一番の思い出は、
初めて見たオーロラが、虹
のカーテンのように光り輝
き、美しかつたことです。

小森 啓子（京都府出身）

更生会社
になつた
のを名目
に33年続
いた大阪基地を潰されて東
京に転勤させられ、また半
年後に整理解雇されました。



長坂 晶（群馬県出身）

飛行機の発着を間近に見て
以来、空の虜になり、客室
乗務員の仕事を選びました。
32年間の乗務は自分が納得
した形で終わりたいと思い
ます。この裁判で年齢差別、
組合差別等々基本的人権を
質したいと思います。

意外と続けられるものです
ね。多くの方に支えられて
感謝の毎日です。



堀田 国子（東京都大田区出身）

和波 宏明（横浜市出身）

747・4
00の機
長です。現
在、上
海の貨物
航空会社で出稼ぎしながら
原告と組合執行委員と産別
役員をしているのですが、

守り続けた大好きな仕事を、
幾つもの危機を乗り越えて
飛んだ後に、副操縦士にな
りました。もう一度あの
空へ帰るために諦めずに取
り組んでいきます。温かい
ご支援に感謝いたします。

近村 一也（神奈川県横浜市出身）



82年に入社、
航空機関士
を経てパイ
ロットにな
り、いよいよ機長になる訓
練を目前に解雇されました。

御巣鷹事故を経験した者と
して、絶対安全の確立と人
の尊厳を守るために闘います。
ご支援よろ
しくお願ひ
します。

6月19日		株主総会宣伝行動	
6月26日	J A L本社前宣伝行動	8時30分～九段下交差点 地下鉄1番出口付近、	銀座デモ11時30分～水谷 橋公園集合、日比谷公園
6月28日	J A L本社前宣伝行動 10時～10時25分 けんり 総行動主催	15時～16時福岡空港 18時～19時新宿駅南口、 品川駅港南口、池袋駅東 口、錦糸町駅北口、立川 駅北口、天神ソラリア前、 小倉駅、町マリオン前、大阪なん ば高島屋前	まで
7月11日	J A L本社前宣伝行動 18時30分～19時30分有楽	町マリオン前、大阪なん ば高島屋前	
7月18日	J A L本社前宣伝行動 京都宣伝行動	17時～18時 京都宣伝行動	
7月29日	全国一斉宣伝行 動（東京）	17時～18時 全国一斉宣伝行 動	
7月30日	福岡宣伝行動	15時～16時福岡空港、 18時～19時博多駅筑紫口、 天神 小倉駅	

今後の日程